

2025 年 7 月 4 日

タイにおける電動車(EV)市場の動向と県内企業の可能性 ～バンコク国際モーターショー2025 視察報告～

バンコク事務所副所長 徳田 穰二

1. モーターショー2025 の概要と展示傾向

2025 年 3 月 26 日～4 月 6 日、バンコク郊外のインパクト・エキシビションセンターで、第 46 回バンコク国際モーターショーが開催され、世界 54 ブランドが出展した。タイでの環境意識の高まりや政府の普及策を背景に、EV の展示が目立った。

主催者のグランプリ・インターナショナルの発表によると、来場者数は約 160 万人で前年並みだったが、会場内での販売・予約を含む契約台数は 77,379 台（前年比約 45%増）に達し、そのうち EV が 65%超を占めた¹。



(写真1) 会場全体の様子
(Bangkok International Motor Show 2025 公式 SNS 出典)

2. 出展企業の動向と日中メーカーの取組

会場内の契約実績では、BYD (9,819 台) が首位となり、次いでトヨタ (9,615 台)、GAC (7,018 台)、DEEPAL (6,067 台)、ホンダ (5,948 台) と続いた²。

特に中国メーカーは多様なバッテリー式電気自動車 (BEV) を展開し、価格競争力を武器に高い存在感を示した。とりわけ BYD は、販売展示のほか、タイで頻発する洪水時でも走行可能なことを訴求するデモンストレーションを実施し、来場者の注目を集めた。

一方、日本勢はハイブリッド自動車 (HEV) やプラグインハイブリッド自動車 (PHEV) を含む幅広い車種で対応しており、燃費性能や信頼性、長年培ってきた技術力を強みとして、市場に応じた提案を行っていた。

特に SUV タイプは関心を集め、多くの来場者が試乗や説明に足を止めていた。



(写真2) 賑わう BYD (中国) のブース



(写真3) ホンダ BEV の SUV 「e:N1」の展示

¹ Bangkok International Motor Show 公式 HP (<https://www.motorshow.in.th/>)

² BYD、GAC、DEEPAL：いずれも中国系自動車メーカー

3. タイ EV 市場の現状と課題

2024 年のタイにおける自動車生産台数は約 147 万台（前年比 19.9%減）、販売台数も約 57 万台（同 26.2%減）と大きく落ち込んだ³。その一方で、EV 市場は成長を継続。EVAT（タイ電気自動車協会）によると、2024 年の電動車の新規登録は 233,477 台（同 18.5%増）となった。内訳を見ると、BEV は 96,891 台（同 3.3%減）でやや減少したものの、HEV は 127,214 台（同 49.5%増）と大きく伸長した⁴。

政府は、2030 年までに国内で生産される自動車の 30%をゼロエミッション車（ZEV）とする「30@30 政策」を推進しており、BEV はその中核を担う手段と位置付けられている（ZEV には主に BEV や燃料電池車（FCEV）が含まれる）⁵。しかし現状では、充電インフラの不足やバッテリーリサイクル支援制度の不透明さに対する不安も根強く、日常的な使用においては HEV の実用性に対する支持が一定程度見られる。

こうした状況を踏まえると、政府による BEV 推進とユーザーの受容性のバランスが、今後の市場構造を左右すると考えられる。BEV の持続的な普及には充電インフラ整備が不可欠であり、2025 年 3 月時点で公共充電ステーションは 3,720 か所に達している⁶が、地方部の整備遅れや雨季の浸水・停電リスクなど課題も残る。BOI（タイ投資委員会）は設置支援制度の拡充や安全基準の整備を関係機関と連携して進めている。

4. EV 施策の進展と福岡県企業の展開可能性

タイ市場では、BEV と HEV が併存する状況が続いているものの、EV 産業は国家戦略の中核に位置付けられており、今後も BEV を軸とした EV シフトが進展すると見込まれる。とりわけ「第 13 次経済社会開発計画（2023～2027 年）」では、脱炭素化に加え、EV の普及を通じた産業の高度化や人材育成が重視されており、EV 関連分野の整備は国家的課題とされている。

EV の普及が進む中で、今後は、完成車の販売支援にとどまらず、バッテリーのリユース・リサイクル、研究開発、人材育成、充電インフラの整備など、EV を持続的に生産・利用できる「エコシステム」の構築が求められる。こうした分野では、日本企業の技術や知見に対する期待も高まっている。福岡県内には、EV 関連分野で技術やノウハウを有する企業が存在しており、タイ市場においても一定の展開可能性が見込まれる。今後も当事務所では、現地動向を注視し、県内企業の展開に役立つ情報提供を継続していく。

³ JETRO ビジネス短信 「2024 年の自動車生産台数、前年比 19.9%減の約 147 万台」 2025 年 2 月 6 日

⁴ タイ電気自動車協会（EVAT）「Thailand Electric Vehicle Current Status as of December 2024」2024 年 12 月 31 日

⁵ Ministry of Energy of Thailand 「แนวทางการส่งเสริมยานยนต์ไฟฟ้า」2021 年 10 月 22 日
<https://www.eppo.go.th/index.php/en/component/k2/item/17415-ev-charging-221064-04>

⁶ JETRO ビジネス短信 「BEV の急速充電設置数はタイ政府目標の約 54%の進捗度」2025 年 5 月 12 日